

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		つくし園				
公表日 令和 7年 2月 1日						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	1	・お子さんの特性やクラスのお子さんの様子でスペースを区切ったり位置を変えている工夫 ・中ベランダ利用時は人数制限を設けています ・パーテーションなど時間差で改善している	定員に対してのスペースについては、年々、日々の様子を見ながら調整する必要があり、職員はクラス毎の園児の特徴を考えながら行われる活動に対して適切なスペースが確保できるよう留意して事業を実施している。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	12	2	・時間や部屋利用を工夫してどのクラスにも対応できる職員が多い ・職員を1人か2人増やした方がよいと思いました	職員数に関しては、人員基準上的人数を配置していることはもちろん、上乗せできる人数を予算と応募の状況が許す限り配置している。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	1	・場所ごとに使用する目的やルールを設け、取り組んでいる ・適切であるよう日々心がけ、努力しているが不十分な部分もあるかもしれない ・毎日使用する歯みがきやお支度のスペースがわかりにくく感じている	園児に必要と考えられる構造化については実施している。年間を通して調整が必要なものであると思っている。不具合が生じれば、その都度クラス担任が話し合い、設定、配置などを見直している。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	15		・中ベランダでリラックスしたり登ったりなど自分なりに過ごせる工夫がされている	清潔、整頓については具体的な工夫の余地はあると考えており、園児が生活・活動をするにふさわしい場所となるよう清掃等を十分実施できるよう検討したい。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	14	1	・気持ちが不安定になった時に休憩スペースを利用できるように設置している ・休憩の部屋がクラス内にある（おもちゃは持たず1人で入る約束カードが提示してある） ・休憩のお部屋が設けられている工夫		
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	14		・様々な研修をする他、会議で全職員に共有、またいつでも相談できる		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12				
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・担当児以外のお子さんも常に間わり方や支援方法などについて意見を交換している ・月2回の会議で話し合いをしており、その都度相談している		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		第三者評価は実施していない。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15				
適切な支援へ	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13				
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13				
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		・必要に応じてクラス担任にも相談して進めている ・ケース会議など		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14				
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1		入園時にフォーマルな評価としては「KIDS」「感覚プロファイル」を実施し、インフォーマルなものは園作成の評価表に基づき評価を実施している。入園後もインフォーマルな評価は随時実施されている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		・保護者の方等と相談させていただける機会も増えたのがよかったです		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	1		月案の作成について、クラス単位で作成し実施している。	

の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14			
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14		・その日のうちにできないこともあるが、前後には必ず打ち合わせや振り返りなどを行うようしている ・その日の活動内容のやり方や役割分担がわからない時は必ずその日のリーダーの先生に確認している	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14		・上手くいったことや難しかったことなど共有している ・その日のうちにできないこともありますが、前後には必ず打ち合わせや振り返りなどを行うようしている ・当番でその日にできないこともありますが、改善点があれば共有している	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12			
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14			
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12			
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13			
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	14			
	(28~30は、センターのみ回答)	10	1	法人内の児童発達支援事業所と連携し、幼稚園、保育園等への訪問を強化し、また独自事業を展開し、どの子、どの保護者にも受け入れやすい療育の入り口を提供できるような事業展開をしている。	
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	14		・わからない ・定期的に作業療法士さんに来ていただいている	近隣の医療型児童発達支援センターから作業療法士を月1回派遣してもらっている。外部研修には常勤職員、最低年1回は参加している。療育スキル向上を図り、一定の決まったプログラムに参加している。
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	10	1	・わからない	高崎市は協議会のこども部会は存在しないため参加できない。子ども・子育て会議はそんざいしているが、参加の要請を受けたことがないので分からない。
	(31は、事業所のみ回答)	11			
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	14		・気になること等に電話にて確認を行います ・あづま交流	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		・気になること等に電話にて確認を行います	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	1	・つくし体験など	つくし園での療育の様子に参加していただく、つくし体験、個別療育の見学を実施しており、令和6年度からは土曜日にクラス単位で保護者ミーティングを開催している。生活上の工夫についての気づき、園児の特性について、共有し理解を進めただけるような支援につなげたいと考えている。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	36 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			

保 護 者 へ の 説 明 等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		・面談、土曜療育など	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	3	・保護者の間わりはあると思うが兄弟の間わりは少ない ように思う	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	・地域住民を招待していないのでわからない	
非常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	14	1	・発作時の対応をマニュアル化している	入園前に、服薬、予防接種、てんかん、熱性けいれんなどの状況、情報は保護者から確認、把握している。必要に応じて情報の更新、確認を行っている。それについて、会議で共有できるようになっている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	14			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	12			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	12			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		・月2回の会議で発表や対応策を確認できている ・わからない	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		・定期的に委員会が開かれている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	14		・月に1回のケース会議でも必要かどうか検討している	